

クレジット:

UTokyo Online Education 学術俯瞰講義 2017 松田 陽

ライセンス:

利用者は、本講義資料を、教育的な目的に限ってページ単位で利用することができます。特に記載のない限り、本講義資料はページ単位でクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 ライセンスの下に提供されています。

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>

本講義資料内には、東京大学が第三者より許諾を得て利用している画像等や、各種ライセンスによって提供されている画像等が含まれています。個々の画像等を本講義資料から切り離して利用することはできません。個々の画像等の利用については、それぞれの権利者の定めるところに従ってください。



學術俯瞰講義「文化資源、文化遺産、世界遺産」

文化資源、文化遺産、世界遺産とは何か

松田 陽
東京大学大学院人文社会系研究科
文化資源学研究室

私の研究関心

人々／社会が「過去」をどうイメージし、理解し、使うのか

関連分野：

文化資源学、文化遺産研究、文化財行政、
パブリックアーケオロジー、
museum studies、material culture studies

私の研究の根底にはあるのは、過去が人間にとって何を意味するのか、という問いである。いかにも大仰な問いだが、おそらくあらゆる学問分野に直接・間接に関連し、分野横断的な研究が求められる文化資源学にふさわしいテーマではないかと(勝手に)思っている。関連するのは何も学問分野や研究者に限らない。過去は万人が想起するものであるために、人々と過去との関係を考えることはきわめて人間的な思索だと言える。過去は個人的なものであり、同時に社会的なものでもあるというのが、これまた面白い。社会科学の用語で言えば、「中間的な(in-between)」存在なのである。そして、人々は過去を覚えておかなければならないと思いながら、その一方で過去を忘れたいとも願う(もともと、現代社会は記憶よりも記録を重要視しつつあるようだが)。さらに、過去は一度切りであるがゆえに絶対的であるはずにも関わらず、人々の想起する過去は相対的で、柔軟に変化する。過去は未来と同じように開かれているのである。

文化資源、文化遺産、世界遺産とは何か

世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約 = 通称「世界遺産条約」

文化資源、文化遺産、世界遺産とは何か

著作権等の都合により、
ここに挿入されていた
画像を削除しました。

UNESCOロゴマーク

UNITED NATIONS EDUCATIONAL, SCIENTIFIC
AND CULTURAL ORGANISATION

国際連合教育科学文化機関

CONVENTION CONCERNING THE
PROTECTION OF THE WORLD CULTURAL
AND NATURAL HERITAGE

Adopted by the General Conference at its seventeenth session
Paris, 16 november 1972

著作権等の都合により、
ここに挿入されていた
画像を削除しました。

世界遺産ロゴマーク

English Text

<http://whc.unesco.org/archive/convention-en.pdf>



© UNESCO, <http://www.unesco.org/en/virtualunesco/>







- Global Strategy
- Criteria
- Upstream Process
- Tentative Lists
- World Heritage List Nominations
- World Heritage List**
- New Inscribed Properties
- Interactive Map
- World Heritage in Danger
- The List in Danger
- Success Stories

Donate Now
Donate now and help preserve World Heritage sites

Search the List [Search] Advanced

World Heritage List



Result	Views						
1073	37	2	54	832	206	35	167
Properties	Transboundary	Delisted	In Danger	Cultural	Natural	Mixed	States Parties

Display by: Country

Order by

Country Region Year Property Name Synergy protection

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V Y Z

Official World Heritage List in other formats

RSS XML KML XLS

Global Statistics

Official World Heritage List Statistics

Legend

Category of site

- Cultural site
- Natural site
- Mixed site

Site inscribed on the List of World Heritage in Danger

- Cultural site
- Natural site
- Mixed site

Order World Heritage List Wall Map

1. 法隆寺地域の仏教建造物(1993)
2. 姫路城(1993)
3. 屋久島(1993)
4. 白神山地(1993)
5. 古都京都の文化財(京都市, 宇治市, 大津市)(1994)
6. 白川郷・五箇山の合掌造り集落(1995)
7. 原爆ドーム(1996)
8. 厳島神社(1996)
9. 古都奈良の文化財(1998)
10. 日光の社寺(1999)
11. 琉球王国のグスク及び関連資産群(2000)
12. 紀伊山地の霊場と参詣道(2004)
13. 知床(2005)
14. 石見銀山とその文化的景観(2007)
15. 平泉—仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—(2011)
16. 小笠原諸島(2011)
17. 富士山—信仰の対象と芸術の源泉(2013)
18. 富岡製糸場と絹産業遺産群(2014)
19. 明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼, 造船, 石炭産業(2015)
20. ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—(2016)
21. 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群(2017)



トップページ

防災・安全

防災、防犯、交通安全、食の安全など

暮らし・環境

税、住まい、人権、NPO、パスポート、環境保全など

健康・福祉

疾病予防、介護、障がい福祉など

しごと・産業

雇用対策、中小企業支援、農業振興など

子育て・教育

子育て支援、教育、生涯学習など

観光・文化・スポーツ

観光振興、国際交流など

県土づくり・地域振興

インフラ整備、地域づくり、移住・定住など


県政基本情報


総合計画、予算・決算など

[トップページ](#) > [観光・文化・スポーツ](#) > [世界遺産を目指して](#) > [宗像・沖ノ島と関連遺産群](#) > 「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録が決定しました！

「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録が決定しました！

 いいね! 10

 ツイート

 印刷用ページを表示する

掲載日：2017年7月9日更新

7月9日（日曜日）、ポーランド・クラクフで開催中の第41回世界遺産委員会において、「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」が世界遺産に登録されることが決定しました。

大雨災害対応のため、委員会への参加を断念した小川知事、樋口県議会議長の想いを託された、伊豆県議会議員、谷井宗像市長、原崎福津市長など地元関係者は、ポーランド・クラクフの世界遺産委員会の会場で、審議状況を見守りました。

地元では、海の道むなかた館（宗像市）において、インターネット中継視聴会が開催され、会場には、これまで長年にわたり、本遺産群の世界遺産登録活動に関わられた多くの関係者の方々が集まりました。

それぞれ固唾をのんで審議状況を見守る中、世界遺産登録が決定すると、両会場、歓喜に包まれました。

海の道むなかた館での視聴会終了後に、参加者の皆さんと記念撮影を行い、世界遺産登録決定の喜びを分かち合いました。

7の物語

知る

訪ねる

世界文化遺産登録をめざして

推進本部会議について

推進本部会議の取組み

百舌鳥・古市古墳群への
アクセス等はこちら

祝・世界文化遺産
推薦候補決定!!

1 2 3 4 5 6

お知らせ

一覧を表示

百舌鳥古墳群ワンストップ電話窓口を設置しています(平成29年9月15日更新)

来訪者のみなさまからの様々な電話によるお問い合わせに対応するため、8月1日より、堺市にワンストップ電話窓口を設置しました。主に百舌鳥古墳群の各古墳へのアクセスやウォーキングルートの案内などを行っていますので、ぜひご利用ください。1. 対応日時 午前9時から午後5時30分まで 土曜、日曜、祝日も対応しています(年末年始を除く) 2. 電話番号 0120-099-771(電話料金はかか...



文化資源、文化遺産、世界遺産とは何か

文化遺産とは？

- 原爆ドーム
- バチカン市国
- 殷墟
- 海商都市リヴァプール
- フィリピン・コルディリエーラの棚田群
- ケニア山国立公園 / 自然林
- ハワイ火山国立公園
- 馬頭琴(モリンホール)の伝統音楽
- タンゴ
- 韓国のキムチ作りと分かち合いの文化、キムジャン
- ポルトガル都市部の民衆歌謡、ファド
- 地中海食
- ルーマニアにおける青年のダンス
- etc.

文化遺産とは？

みなさんはどう思いますか？

歴史学と文化遺産の違い

Difference between history and heritage

過去は異国？

Is the past a foreign country?

(Key Debates in Anthropology 1996)

Lowenthal, D. 1985. *The Past is a Foreign Country*

映画 *The Go-Between* (1971) の出だし

"The past is a foreign country: they do things differently there."

過去は異国である

Yes, the past is a foreign country

我々の世界とは

異なったもの／離れたものだから

**... because the past represents a world
different and distant from ours**

我々にとって親しみがないものだから

... because it is unfamiliar to us

過去は異国ではない

No, the past is not a foreign country

**過去は常に現在において
概念化され理解されるから**

**... because the past is always conceived
and understood in the present**

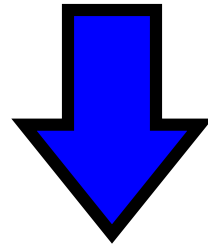
**我々にとって親しみがあるものだから
... because it is familiar to us**

歴史学と文化遺産の違い

Difference
between **history** and **heritage**

**歴史学は過去を
客観的に理解しようと努める**

**History seeks to understand the past
objectively, i.e. in a detached manner.**

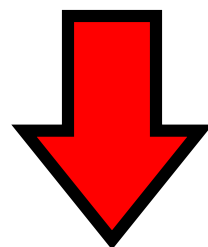


**過去と現在との間に
明確な「距離」を見出す**

**History assumes that there is a clear
distance between the past and the present.**

**文化遺産は過去を
称揚・記念・顕彰しようと努める**

Heritage seeks to commemorate the past.



**過去を現在において
意味を持ったものとして保つ**

**Heritage keeps the past alive and
meaningful in the present.**

過去 Past

現在 Present

歴史学 History

Lowenthal, D. 1998. *The Heritage Crusade and the Spoils of History*

文化遺産 Heritage

過去 Past ↔ 現在 Present

文化遺産とは？

「人々が過去に自分たちのアイデンティティを
感じるための社会的媒介」

文化財と文化遺産の関係



国立国会図書館サーチ

[簡易検索](#)[詳細検索](#)[障害者向け資料検索](#)

キーワード

[検索](#) 翻訳検索しない▼ すべての[連携先](#)を検索する [すべて](#)[本](#)[記事・論文](#)[新聞](#)[児童書](#)[レファレンス情報](#)[デジタル資料](#)[その他](#)[立法情報](#)

「国立国会図書館サーチ」(NDL Search)は、国立国会図書館をはじめ、全国の公共図書館、公文書館、美術館や学術研究機関等が提供する資料、デジタルコンテンツを統合的に検索できる「『知』のアクセスポイント」です。

- 国立国会図書館サーチの機能については、[機能概要](#)のページをご覧ください。
- 検索できる資料、デジタルコンテンツの詳細については[検索対象データベース一覧](#)のページをご覧ください。
- 複写サービスなど国立国会図書館の各種サービスをお申込の方は、あらかじめ「ログイン」をしてから検索をしてください。

図書館からのお知らせ

[RSS](#)

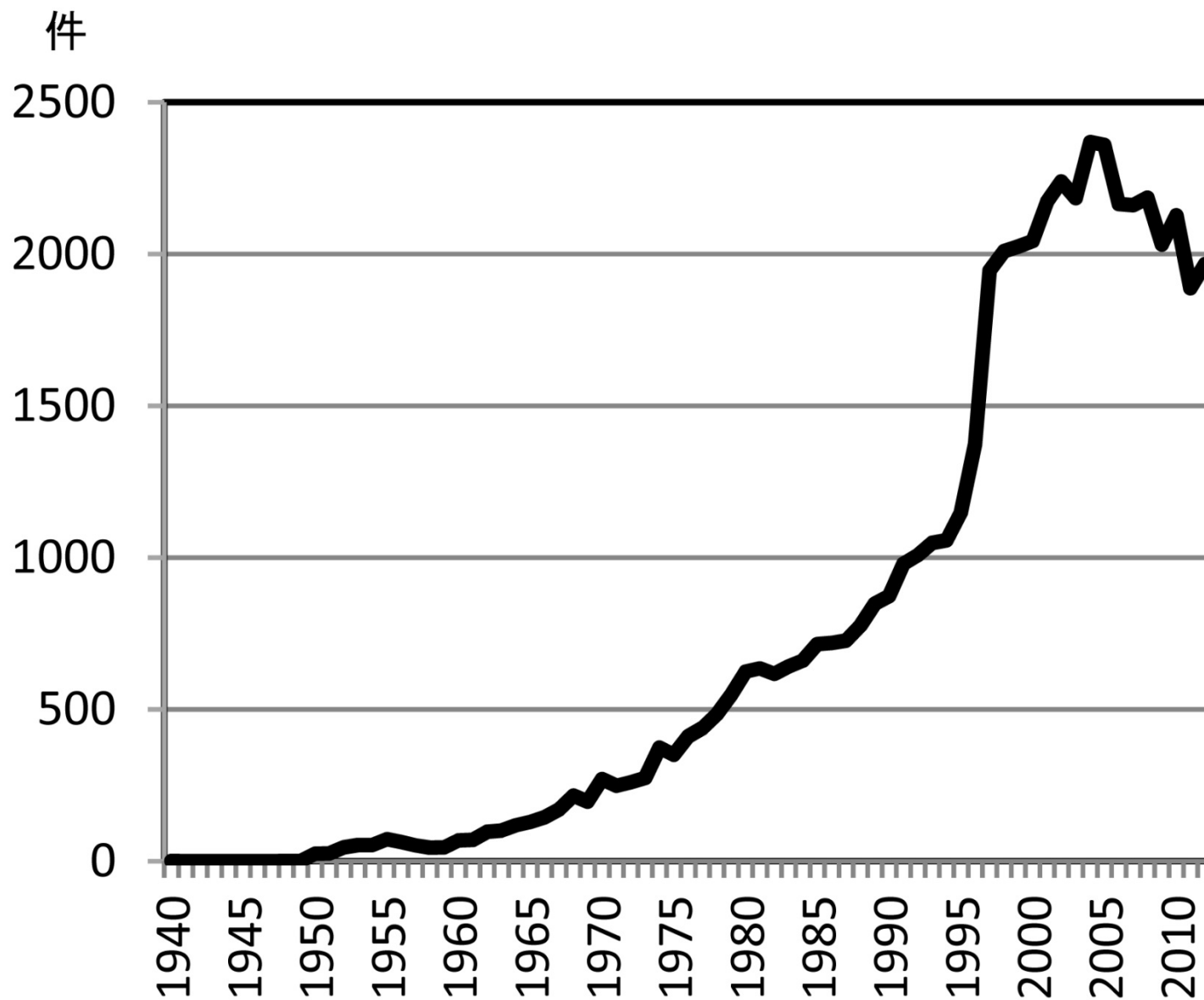
- [一部公共図書館への遷移方式を改善しました](#) (2017年9月20日) (2017-09-20 16:35)
- [国立国会図書館サーチのシステムメンテナンスのお知らせ](#) (2017年9月9日) (2017-09-05 15:00)
- [「よく利用する図書館」に関する制約を解消しました](#) (2017年8月8日) (2017-08-08 09:30)
- [データ連携機関を新しく追加しました](#) (2017年7月25日) (2017-07-25 09:00)

[すべてのお知らせを見る](#)[国立国会図書館ホーム](#)[NDL-OPAC](#)[国際子ども図書館 子どもOPAC](#)[Web NDL Authorities](#)[国立国会図書館サーチについて](#)[お問い合わせ](#)

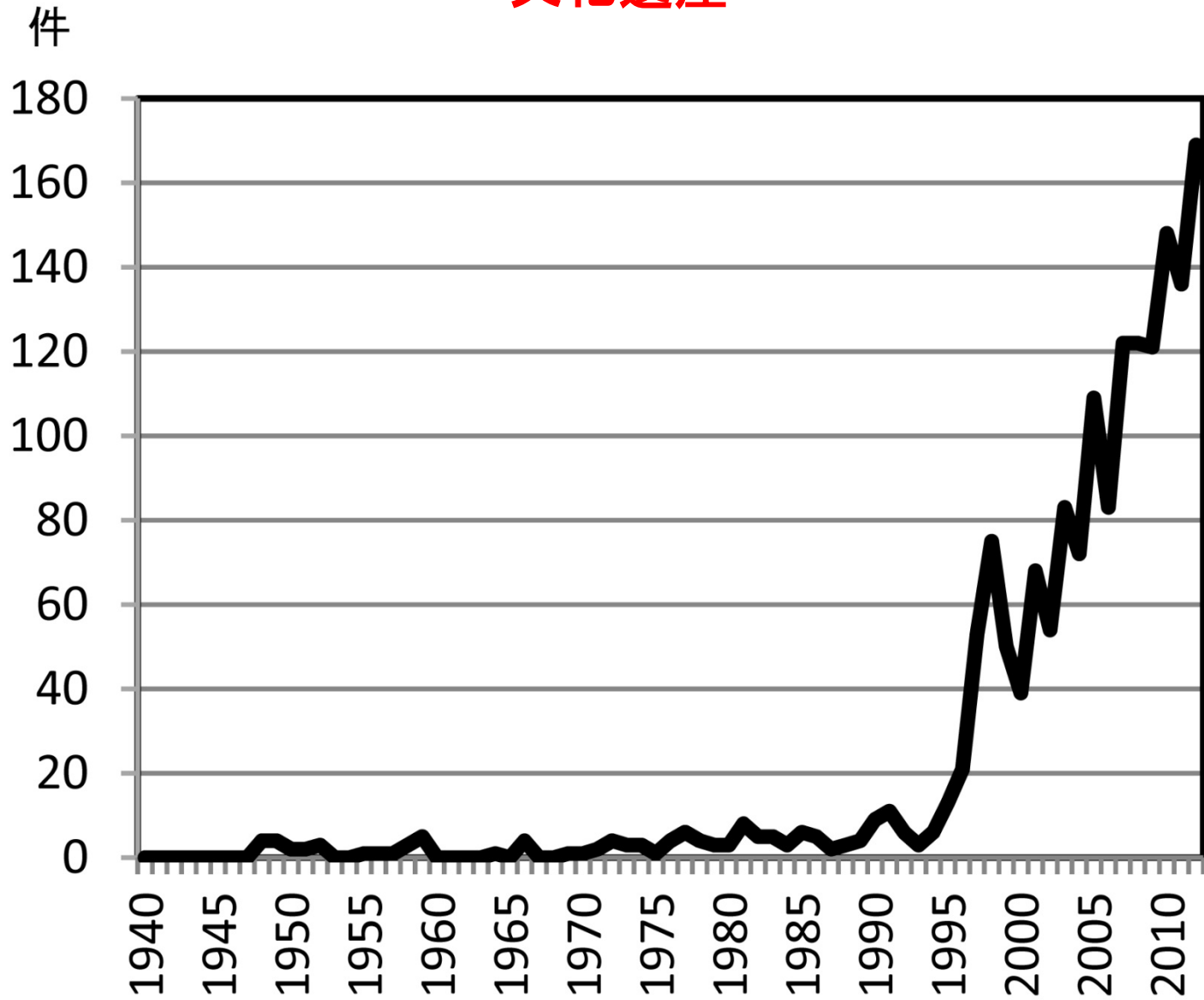
Copyright © 2012 National Diet Library. All Rights Reserved.

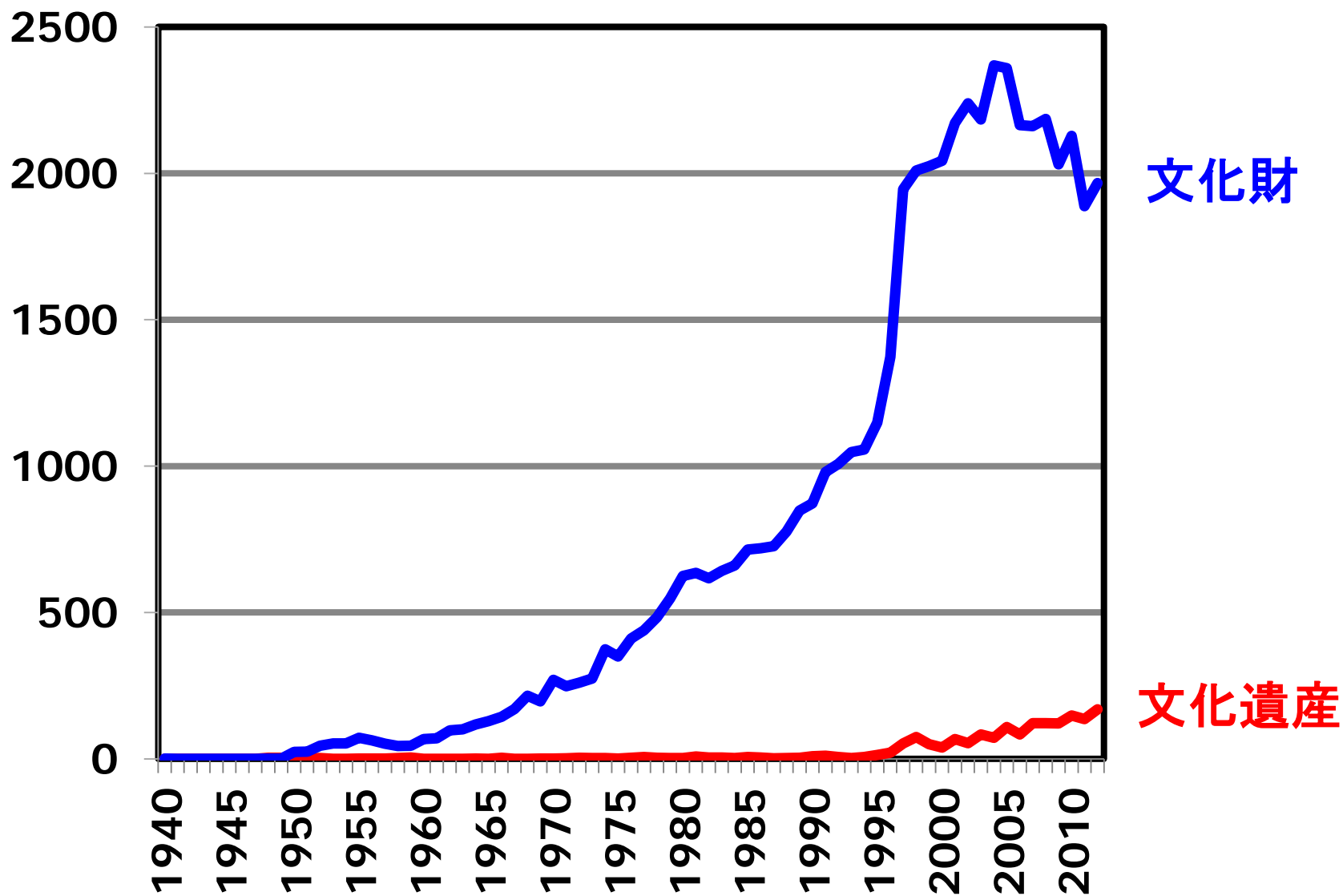
国立国会図書館ウェブサイト
国立国会図書館サーチ
<http://iss.ndl.go.jp/>

文化財



文化遺産





日本

「文化遺産」という言葉が社会で広く使われ始めたのは
1992年以降

英国

「Cultural heritage」という言葉が広く社会で使われ始めたのは
1980年代前半以降 (Larkham 1999: 115-116)

中国

「文化遺産」という言葉が広く社会で使われ始めたのは
1980年代以降 (Lai 2016)

著作権等の都合により、
ここに挿入されていた
画像を削除しました。

UNESCOロゴマーク

UNITED NATIONS EDUCATIONAL, SCIENTIFIC
AND CULTURAL ORGANISATION

CONVENTION CONCERNING THE
PROTECTION OF THE WORLD CULTURAL
AND NATURAL HERITAGE

Adopted by the General Conference at its seventeenth session
Paris, 16 november 1972

著作権等の都合により、
ここに挿入されていた
画像を削除しました。

世界遺産ロゴマーク

English Text

<http://whc.unesco.org/archive/convention-en.pdf>

文化遺産(世界遺産含む)を考察する上では、

「過去」ではなく、「現在と過去の関係」を考える

文化資源、文化遺産、世界遺産とは何か

東京大学大学院人文社会系研究科 文化資源学研究室

**金沢大学 人間社会研究域附属 国際文化資源学研究センター
金沢大学 文化資源マネージャー養成プログラム**

同志社大学 文化情報学部 文化資源学コース

近畿大学 文芸学部 文化・歴史学科 文化資源学系

弘前大学 人文社会科学部 文化創生課程 文化資源学コース

島根県立大学短期大学部 総合文化学科 文化資源学系

文化資源学会

奈良県 地域振興部 文化資源活用課

新宿区 文化観光産業部 文化観光課 文化資源係

富里市 教育委員会 生涯学習課 文化資源活用室

専攻の概要

ようこそ文化資源学専攻へ

講義・演習

文化資源学研究室は、2000年春に、東京大学大学院人文社会系研究科の中に誕生しました。正しくは、文化資源学専攻といいます。

学生紹介

文化資源学Cultural Resources Studiesという言葉も、この時にはじめて、わたしたちが使い始めました。それは、人間が生み出すさまざまな文化を、既成の観念や既存の制度にとらわれず、「ことば」と「おと」と「かたち」を手掛かりに、根源に立ち返って見直そうとする姿勢から生まれました。多様な観点から文化をとらえ直し、新たな価値を発見・再評価し、それらを活かしたよりよい社会の実現をめざす方法を研究・開発しようとするものです。

文化資源学会ウェブサイトでは…

私たちは過去現在の豊かな文化資源をもっています。

私たちは、これまでの豊かな文化資源を有効に活用し、新たな文化資源を創成して未来へ引き継ぐ責任があります。**文化資源とは、ある時代の社会と文化を知るための手がかりとなる貴重な資料の総体**であり、これを私たちは文化資料体と呼びます。文化資料体には、博物館や資料庫に収めきれない建物や都市の景観、あるいは伝統的な芸能や祭礼など、有形無形のものが含まれます。

しかし、多くの資料は死蔵され、消費され、活用されないまま忘れられています。埋もれた膨大な資料の蓄積を、現在および将来の社会で活用できるように再生・加工させ、新たな文化を育む土壌として**資料を資源化し活用可能にすることが必要**です。

文化資源学会設立趣意書(2002年6月12日採択)より引用

<http://bunkashigen.jp/about.html>

著作権等の都合により、ここに挿入されていた画像を削除しました。

書籍表紙画像

木下 直之 編『博士の肖像』東京大学
出版会1998年

<http://www.utp.or.jp/book/b299270.html>

著作権等の都合により、ここに挿入されていた画像を削除しました。

書籍表紙画像

木下 直之『股間若衆—男の裸は芸術か—』新潮社、2012年

<http://www.shinchosha.co.jp/book/332131/>

木下直之1998『博士の肖像—人はなぜ肖像を残すのか』
東京大学総合研究博物館

木下直之2012『股間若衆—男の裸は芸術か』
新潮社

「文化資源」を用いたもうひとつの理由は、「資源」という言葉が有するふたつの意味に注目したからです。まず日本語での「資源」は、地下資源や海洋資源、あるいは人的資源やゴミ資源など、この言葉を用いて呼ぶ対象が何であれ、それらがまだどこかで眠っている未開発な状態を指す一方で、やがてそれらが**開発され、活用される**という、あるいは**活用されるべきだ**という方向性を指す両義的な言葉です。そして、資源の発見から開発への移行の際には、価値の付与が行われます。

したがって、「資源」に「文化」を結びつける場合、**発見**に重心を置くのか、**開発**に重心を置くのかで、「文化資源」の意味するものはずいぶん違ってきます。〔中略〕

私たちは、むしろ**発見**を重視し、日本語の「資源」にいう「源」、英語の「Resources」にいう「Source」、すなわち文化を構成する根源的なもの、源泉にまで立ち返って考えようとする姿勢を、「文化資源」という言葉に託しました。そして、この文化的な源泉を、「おと、かたち、ことば」と呼びかえてみました。〔中略〕

結論を申し上げます、**文化資源という思想は、新たな価値の発見と活用を求める姿勢、態度であって、文化財や文化遺産に取って代わる新たなレッテル、ラベルとしてはいけない**というものでした。

木下直之「文化資源学がひらく世界～フォーラム」『文化資源学という思想』報告～」
『文化資源学』第6号、2007年、95頁

鈴木禎宏・難波知子2017: **認識の科学と設計の科学**